



**MORIOKA**  
ROTARY CLUB WEEKLY

第18回例会(11月13日)  
平成27年11月20日発行

クラブ事務所 岩手県盛岡市菜園1丁目10  
川徳アパート内  
例会場 同上 TEL(651)1111(代)  
例会日 毎週金曜日12時30分～

会長 岩野 法光  
幹事 吉江 信博  
会報 福田 荘介  
クラブ事務局 TEL(653)5682  
FAX(653)5622

Be a gift to the world. '世界へのプレゼントになろう'…………… K. R. ラビンドラン

## 新入会員卓話



### 「今後のインフレと米国の運用歴史について」

いちよし証券㈱ 大北盛岡支店 支店長  
掛上 智章君

日本は数年前までデフレが長い間続きました。物の値段が総じて値下がりした時代でもありました。

極端な話、日本では今日よりも明日、明日よりも明後日のほうが物を買ううえで安く買えました。つまり、現金を0.0%台の預金をして、ほとんど利息が付かなくても物の値段が下がっていましたのでお金の価値は逆に上がりました。お金を働かせなくても良かった訳です。こんな話をお聞きいただくと、「物の値段が下がって、安く買えるのだったらそのほうがいいのでは？」とお思いになられるかもしれません。

ところがそれではお金が回りません。「今日より明日買うほうがいいや」とか「どうせ、そのうちにこの商品の値段は下がるので、それまでお金を使うは止めておこう」といった買い渋りが起こってしまう。つまり財布の紐が「ギュー」と絞まってしまい、どんどん日本の景気は悪くなってしまいました。

物の値段が下がる「デフレ」に陥ると、世間にお金が回らなくなり、その国の経済活動は停滞してしまいます。まさしく日本はこの長きに渡る「デフレ」により、「失われた15年」または「20年」と言われるに至りました。しかし現状の日本は変わってきております。

「失われた十数年」から脱出するために、政府・日銀は経済対策、金融対策と両面から対策を打ちたてました。

最近、消費者物価指数は前年を上回り、今後も前年を上回る予想となっています。身近なところでご説明しますと、ここ最近、卵やトイレットペーパーの値段が上がっています。それ以外の商品についても値上がりが見られるようになってまい

りました。皆様も実感されていると思います。しかしながら冒頭申し上げたとおり、物価が上がってきたのに金利 預金金利は0%近くです。金利がゼロ近くで、もし毎年物価が1%上昇するとどうなるか？

1,000万の価値は5年後951万の価値に。10年後には905万の価値に約100万円目減りすることになります。15年後には861万、20年後には820万の価値となってしまいます。

それでは国が目標として掲げている年率で物価上昇2%となると、お金の価値はどうなるでしょう。1,000万は5年後906万の価値に、10年後には820万の価値、つまり10年で2割近くお金の価値が目減りしてしまいます。15年後には743万、20年後には673万の価値です。このようなお金の価値が下がる時代になるかもしれない状況下で、現状の国債利回りでは物価上昇分を補えない可能性もございます。

先程お話したように、そんなにお金の価値が下がることって、皆さんはあまりピンとこないかもしれません。1985年から現在までの約30年間の物価上昇率と10年国債利回りの推移とその差を比較しますと2013年から物価上昇率が国債利回りを上回っていることがわかります。具体的に申し上げますと預金して付いてくる利息の利率より、物の値段の上昇率が上回ってきました。実に1970年前半以来の出来事でございます。

当時は振り返りますと1960年代以降にエネルギー革命を迎えエネルギーを石油に置き換えていた日本は、ニクソン・ショック(ドル・ショック)から立ち直りかけていた景気を直撃。前年からの列島改造ブームによる地価急騰

で急速なインフレーションが発生していましたが、石油危機により相次いだ乗値上げなどにより、さらにインフレーションが加速されることとなりました。当時はそんな時代でした。高度経済成長期で預金金利も高かったのですが、それ以上に物価の上昇率が高かった時代、つまりそのような時代が今、訪れようとしているのです。ということは、金利が0%近くで物価が上昇いたしますと、働いてお金を貯めて、現預金だけしかしていなければインフレでどんどんお金の価値が下がってしまうつまり実質的にお金が減ってしまいます。では、このような時代、お金をどうしたらよいのでしょうか？

そこで、アメリカの個人はお金をどのような場所に置いて、どのような結果になっているかを皆様にご認識いただきたいと思えます。

日本、右側がアメリカの1990年から2014年までの家計、すなわち個人金融資産の推移を比較しますと日本も確かにこの24年間で個人金融資産が982兆円から1694兆円と712兆円、率にして7割強増えてはいます。金融商品別の内訳はというと現預金が448兆円から890兆円とほぼ倍増していますが、有価証券は295兆円から282兆円と24年間で逆に減少しています。その他、保険や年金積立金は239兆円から520兆円と2倍強増えているのがお解かりいただけると思えます。この間、日本の個人はコツコツとお金を現預金にしていました。

一方、アメリカはどうでしょう。

現預金も増えていますが、有価証券とその他、ここでは年金積立金が大幅に増えています。

アメリカにおける個人金融資産の24年間の増加率は日本の7割増に対して、何と4.3倍です。米国の家計は有価証券、年金積立金これは米国では投資信託が中心で金融資産を拡大しております。金額にして、1ドル120円として日本円で1,914兆円が8,159兆円です。

日本の現在の個人金融資産が24年後に日本円で8,000兆円になったということです。

すごい伸びです。アメリカの景気が非常に良好であるといえます。

では、アメリカの個人は有価証券、年金積立金これは投資信託運用をどのような形式で保有・運用し、資産を増やしたのでしょうか？

米国における投資一任契約、これは俗に言う「運用のおまかせ」です。

2000年～2014年までの投資一任契約の推移は5000億ドルから14年間で4兆ドル弱まで増えております。日本円で60兆円から480兆円弱へと増えております。

イメージとしてアメリカ人なら、自分で銘柄を決めて、自分で運用するようお願いになるかもしれませんが。確かにそのような人もいますが、ただ自分で運用する上では時間もなし、難しいし、自分の判断ですと勘に頼らないといけないし、ということで結論的にそれならプロに任せようが安心できるし、長期に亘って気にせずお金を増やすことができるのと判断により、一任契約が急増しているのです。

米国で投資一任契約が拡大・急増している理由を詳しくご説明いたします。米国でも日本と同様にここ10年から20年間で、さまざまな出来事がありました。

ITバブルの崩壊やリーマンショックのような株式の大暴落や米国のエネルギー会社であるエンロンの粉飾決算スキャンダルを筆頭にさまざまなスキャンダルによる投資に対する不信感。さらには自分の判断では選択不可能な多すぎる金融商品。

このような様々な問題があったために、米国の投資家も一喜一憂し、自分の投資のやり方に自信が持てなくなりました。ではどうしたらこんな予期せぬ出来事があったとしても資産を守りながら増やせたのでしょうか？

答えは「アセットアロケーション」。わかりやすく説明いたしますと運用に伴う様々なリスクを軽減しながら効率的な運用益を目指す方法と、いわゆるプロの「お任せ運用」と、一人の運用担当者ではなく複数の運用担当者で中立性を維持した運用能力をミックスさせることが長期にわたる安定運用、すなわち「安心感」につながるパフォーマンスが獲得できるという結論となったことで投資一任契約が拡大し、それと同時に運用成果も上がり、米国の個人金融資産が大幅に伸びたのです。

これが米国個人の長期運用の考え方と方法、そしてその結果であります。

以上のような考え方、運用方法で米国の個人金融資産が大幅に増加したのを見習って、日本においては今後どのようにすれば良いかです。

ポイントはまず「分散投資」「長期投資」です。

モデル1は国内株式・債券、海外株式・債券の異なる4つの資産を25%ずつ

モデル2は国内株式・海外株式を50%ずつ

モデル3は国内株式・債券を50%ずつ

モデル4は国内株式100%

この4つのモデルの運用結果を1989年末～2014年末の24年間で検証致しますと

モデル1の国内・海外の株式と債券を25%ずつの運用が他の3つのモデルを大きく上回

ている結果になっております。

100が24年で339.05、3.4倍弱となっております。

ただ、2001年の米国同時多発テロや2008年のリーマンショックの時には一時的に値下がりをしています。

このような短期的な値下がりを緩和させる方法としては長期投資です。

モデル1の日本株式・債券、海外株式・債券を25%ずつ分散した場合の保有期間1年間、5年間、10年間の毎年ごとの年率リターンは保有1年間であれば年間の収益率がマイナスになってしまうことも多く、安心できない状態ですが、5年であれば落ち着いた運用収益となり、さらには10年であればショック安があったとしても、年率でマイナスになっておりません。長期投資の効果が発揮されているのです。

そしてさらに「分散投資」「長期投資」に加え、中長期分散資産運用で大切なことが2つございます。

「大切なこと1つ目」ということで、「資産配分」です。

投資というと、どんなイメージがあるのか？世の中が考える投資のイメージは、「いつ買ったらいいの」「いつ売ったらいいの」、こうした市場のタイミング、それから、「どんな会社がいいの」「どんな株がいいの」「どの為替がいいの」、こうした考え方が多分おありかと思えます。

ところが、米国での研究によりますと、資産運用の運用成績の決定要因は、資産配分が9割を占めるという報告があります。

つまり株、債券、REIT、国内もあれば海外もございます。どうやって組み合わせるのか、

ここを考えるのが成績のよさにつながるということですよ。

「いつ買ったらいいの」「いつ売ったらいいの」、市場のタイミングなどは関係ございません。どうやって組み合わせるかがポイントになる、この資産配分の重要性が1つの目のコツになります。意外だと思われるかも知れませんが、資産配分が運用成績を左右するということをご確認いただければと思います。

大切なこと2つ目、リバランスです。

リバランスとはなんなのでしょう？

株、債券、REIT、それぞれ三等分して運用されていたとします。

しかし、マーケットですから、マーケットが動けば、価格が変動いたしますので、それぞれの資産の比率は上がったたり下がったりするかと思います。

ここ例では株が上がって、債券が下がっているということがおわかりいただけるかと思いますが、株式は、ご案内のとおり、値動きの幅がとても大きいです。つまりリスクが大きいということになりますので、当初の配分比率と比較してリスクが高まっているのがおわかりいただけるかと思えます。これを元の状態にするために、株を売って、その資金で債券を買う、この動きをリバランスといいます。こうした見直し、リバランス、中長期的には、大変必要な運用のスキルと言われております。

以上のことから、これからの日本も米国の運用歴史から学び、分散投資の必要性や定期的な資産配分の見直しが重要であるということをお話させて頂きました。

仙台支部だより

## 新たな仲間が加わり、活動再スタート！

大変ご無沙汰しています。仙台支部です。事務方の怠慢で1年振りの会合となってしまいましたが、今回は、仙台支部設立以来の新たな仲間・竹中さん（前東北電力支店長）の歓迎会も兼ね、久しぶりの会合ということもあり、賑やかな和気藹々の会合となりました。

本当に皆様元気一杯です。仕事の現役を退かれても、登山やゴルフ、ヨットなど趣味の世界で未だ現役の第一線で活動しており、失礼ながら、とても古希を過ぎたとは思えない涌沢さん、石塚さん、ヨットの全国大会で優勝（昨年）し今年も四国まで出かけられた木村さん、盛岡 RC を退会して8年過ぎても未だ現役の風間さん、最近酒の機会がめっきり減り弱くなったと言いつつも酒豪の後藤さん、社長職を下りられても今は黄門役として現場巡りで叱咤激励している椎井さん。そして、社長職の竹中さん。（小生も6月でサラリーマンを辞め起業しました）。

皆様の元気な表情を見て、盛岡 RC を退会する時に長野先生に言われた一言を思い出しました。「一生涯現役が元気の秘訣、最も有効な認知症対策」。

今回の会合も、「盛岡の話題」で大いに盛り上

がり、そして笑い、楽しいひとときを過ごすことができましたが、残念なことが一つ。盛岡の酒も話題となり盛り上がりましたが、肝心な盛岡の酒がメニューにありませんでした。平井さん、村井さん、ゴメンナサイ。

最後に、居酒屋の店長に盛岡の酒の品揃えを直談判し、次回は間違いなく盛岡の酒でさらに盛り上がることを確約し、散会となりました。

（文責 小松）



左より 木村さん、竹中さん、石塚さん、涌沢さん、椎井さん、風間さん、後藤さん、小松

### 例会報告

第 18 回例会  
平成 27 年 11 月 13 日(金)

12時30分 開会点鐘

- ・司会 白石 茂副会長
- ・ソング 我らの生業
- ・四つのテスト斉唱
- ・会長報告 白石 茂副会長
- ・新入会員紹介 佐々木憲明会員  
佐々木歯科医院 院長
- 紹介者：近藤 駿会員
- ・入会祝 藤村文昭君。
- ・誕生祝 藤村文昭・盛田洋太郎・

勝部民男・長野隆行・熊谷隆司・阿部 広・工藤幸一・坂本広行君。

- ・結婚祝 工藤幸一・佐々木憲明・佐藤重昭君。
- ・幹事報告 吉江信博幹事

#### 【ニコニコ BOX】

- ◆佐藤義正君…11月3日に盛岡市勢振興功労者表彰をいただきました。皆様のご指導、ご鞭撻の賜物です。ありがとうございます。
- ◆藤村文昭君…20年の入会記念をいただきありがとうございます。皆出席バッチ20年は、半年ほど遅れます。それは、ある事から45代

当主・故利昭お殿様のお手打ちに会い、しばらく休んでしまったのが、その理由です。私が若かったせいもありますが、その後、お殿様のお許しをいただき、今まで皆出席で会長までさせていただきました。ロータリーに感謝です。

#### ●メークアップ

仙台レインボーR.C.=菊池君。盛岡北R.C.=佐藤(善)君。盛岡東R.C.=勝部君。盛岡滝ノ沢R.C.=田口君。クラブ委員会=平賀・駒木君。

出席報告

□ 会員数 /73 名

□ 出席数 /37 名

□ 出席率 /58.57%

□ 前々回 /73.13%

プログラムの  
お知らせ

- ・ 11月 20 日(金) ゲスト卓話 小森武義様 (いきいき岩手結婚サポートセンターセンター長)  
「少子化の現場報告」
- 27 日(金) パスト会長卓話 川村 登会員
- ・ 12月 4 日(金) パスト会長卓話 平井 滋会員

●本号編集担当 / 金沢 滋

●次号編集担当 / 佐藤 仁志